

解決研勉強会の事例検討の仕方

- ・参加者に、困っている事例、検討したい事例などを提供してもらい（事例の説明は概略だけ）**ソリューションの面接**をする
- ・事例提供者がクライアント（役）、カウンセラー（役）は参加者が適宜の順番で交代して務める
- ・原則として事例提供者以外の参加者全員がカウンセラーをする
- ・カウンセラーは交代しても一人のカウンセラーが面接しているように行う
（カウンセリングの流れを十分に意識すること）
- ・カウンセラーは、自分の順番になった時に「パス」をすることができる。パスした場合、次の順番の人がカウンセラーをする
- ・**カウンセラーは指定された持ち時間が過ぎたり、時間前でも切りがよいと思うところで、自身で画面から去る。去ったら、次のカウンセラー役が画面に出る。**
- ・一人の持ち時間が過ぎた場合は交代を促す（画面の下の方に交代を促す字幕を出すので注意して見ていてください）
- ・最後のカウンセラーは、「少し時間をもらって相談の内容を整理しますのでお待ちください」などと休憩をとることをクライアントに伝える

- ・休憩中、クライアント以外のメンバーで、フィードバックメッセージを考える
- ・その間、クライアントは、メンバーが話し合っているのを聞いていて構わないが、発言はしない
- ・フィードバックメッセージを伝える（クライアントが話し合いを聞いていた場合、省略あり）
- ・クライアントから感想を話してもらう